

会社概要・編集方針	2012年度ハイライト	トップコミットメント	金融機関として取り組むべき優先課題	優先課題:ケーススタディ	SMFGにおけるCSR
盤石な経営体制	CS・品質向上への取り組み	環境活動	社会貢献活動	人の尊重と人材活用	各種データ集

Contents

会社概要・編集方針	P.2
2012年度 ハイライト	
SMFGスナップショット	P.3
社外からの評価	P.4
トップコミットメント	P.5
金融機関として取り組むべき優先課題	
CSRと事業活動を一体で展開	P.7
SMFGの事業展開	P.7
4つの優先課題	P.8
ステークホルダー・エンゲージメント	P.9
ステークホルダーとのコミュニケーション 「少子化問題に関する企業への期待と役割」	P.10
金融機関として取り組むべき優先課題:ケーススタディ	
震災復興	P.15
少子・高齢化	P.16
環境	P.17
グローバル	P.19
活動概要報告	P.21
SMFGにおけるCSR	P.22
盤石な経営体制	P.25
CS・品質向上への取り組み	P.27
環境活動	P.28
社会貢献活動	P.31
Close-up: 社会貢献活動への従業員参加を促進	P.33
人の尊重と人材活用	P.35
第三者意見	P.37
各種データ集	P.38

400年引き継がれたCSRのDNA

三井住友フィナンシャルグループのCSRの精神は、400年続いた「三井」「住友」の事業精神として引き継がれたものでもあります。

例えば、住友グループでは、かつての別子銅山における公害問題に真摯に取り組み、大規模な植林事業を行いました。荒れ果てた別子の山々を元の自然の状態に戻していくため、専門技術者を招いて森林計画を作成し、毎年100万本を超える植林を実施しました。

また、三井グループでは、健康保険制度の行き届かない明治時代に、生活困窮者にも医療が少しでも行き届くように「三井慈善病院」を設立しました。この病院は時代とともに変遷し、今日の「三井記念病院」として続いています。

当社グループは、このようなDNAを現代にも引き継ぎ、金融サービスを通じて社会的課題の解決のための一助を担いたいと考えています。



別子銅山の移り変わり



三井記念病院の設立